

2種類のヤシの木 フェニックスとワシントンヤシ

金曜日から日曜日にかけて台風12号が四国・中国地方を通り過ぎました。暴風警報も出て、この知多地域にも強い風が吹きました。学校の校舎の前に植えられているヤシの葉が大きく風になびいていました。紀伊半島では、大きな被害が出たようですが、皆さんのご家庭では、被害はなかったでしょうか。

今日は、この風になびいていたヤシの木についてのお話です。

まず、校舎の南側に何本か並んで立っているのが、ヤシの仲間の中でも、フェニックスというヤシです。先のとがった葉が鳥の羽根のように並んでいます。これが特徴です。

木の幹には、枯れ葉の基の部分がクッションのようになっていて、そこに他の植物がよく生えています。



フェニックス

(カナリーヤシとも言います)

もう一つ、校舎の東角の所に立っている2本の背の高いヤシのお話です。

これは、ワシントンヤシとか、オキナヤシと言われます。特徴は、スラーと背が高いことと、葉が手のひらのようになっていることです。

この2種類のヤシは、今から50年ほど前に植えられたのだそうです。どちらも大切にされてきました。



ワシントンヤシ

フェニックスの葉の伐採については、毎年、夏休みに乙川スポーツクラブの方々が取り除いてくださるので、とても助かっています。

ところが、背の高いワシントンヤシは、強い風が吹くと、1～2mもの大きな枯れ葉が、地面に落ちてきます。今回の台風では、10枚以上の枯れ葉が落ちました。枯れ葉と言っても1～2mもの大きさです。落ちてきたこの枯れ葉が当たって、けがをする人が出てはいけません。背が低いときには、まだよかったのですが、20m以上に育った今、枯れ葉を取り除くには、消防のはしご車が必要になるぐらいです。そう簡単に、はしご車に出動してもらうわけにはいきません。そこで、今回、思い切って2本のワシントンヤシを切り倒すことにしました。皆さんにも知っていただきたいと思います。

これでお話を終わります。